

教育センターだより 96号

平成26年4月

香川県教育センター

香川県高松市西宝町2丁目4番18号

TEL 総務課 087(833)4235 教育研究課 (833)4239 教職員研修課 (833)4229 教育相談課 (833)4238

FAX 087(834)1105 URL <http://www.kec.kagawa-edu.jp/>

平成26年度の主な事業

調査研究

- 全国学力・学習状況調査、香川県学習状況調査の結果分析と今後の取組提案
- 学校におけるタブレット端末の活用

教職員研修

- 基本研修、職務研修、専門研修
- 小・中学校教員長期研修

教育相談

- 学校生活の悩み相談、24時間いじめ電話相談、家庭教育電話相談、ネット上のトラブル相談
- 教職員等へのコンサルテーション
- 学校支援アドバイザーの派遣

情報教育支援

- 教職員の情報活用能力の育成
- 情報機器等の活用支援

カリキュラムセンター

- 研修サポート（指導主事の派遣）
- 教育情報提供（図書資料室、Webサイト）
- 退職教員学校サポート（さめき学びの支援隊）
- 研究相談
- 学校教育指導委員の派遣

教育センター移転整備

- 建物改修、構内LAN等整備など

原点を忘れず、歴史的な改革に向けて

香川県教育センター
所長 倉沢 均

教育センターでは、教育委員会における平成17年度からの研修の一元化に続き、平成24年度からの学力調査分析等の研究の一元化に取り組むとともに、シンクタンク機能の充実を図ってまいりました。

昭和46年に設置された当センターは、今年で43年目を迎えますが、今年度、旧県立がん検診センターの建物を改修のうえ移転し、平成27年度から業務を開始する予定です。

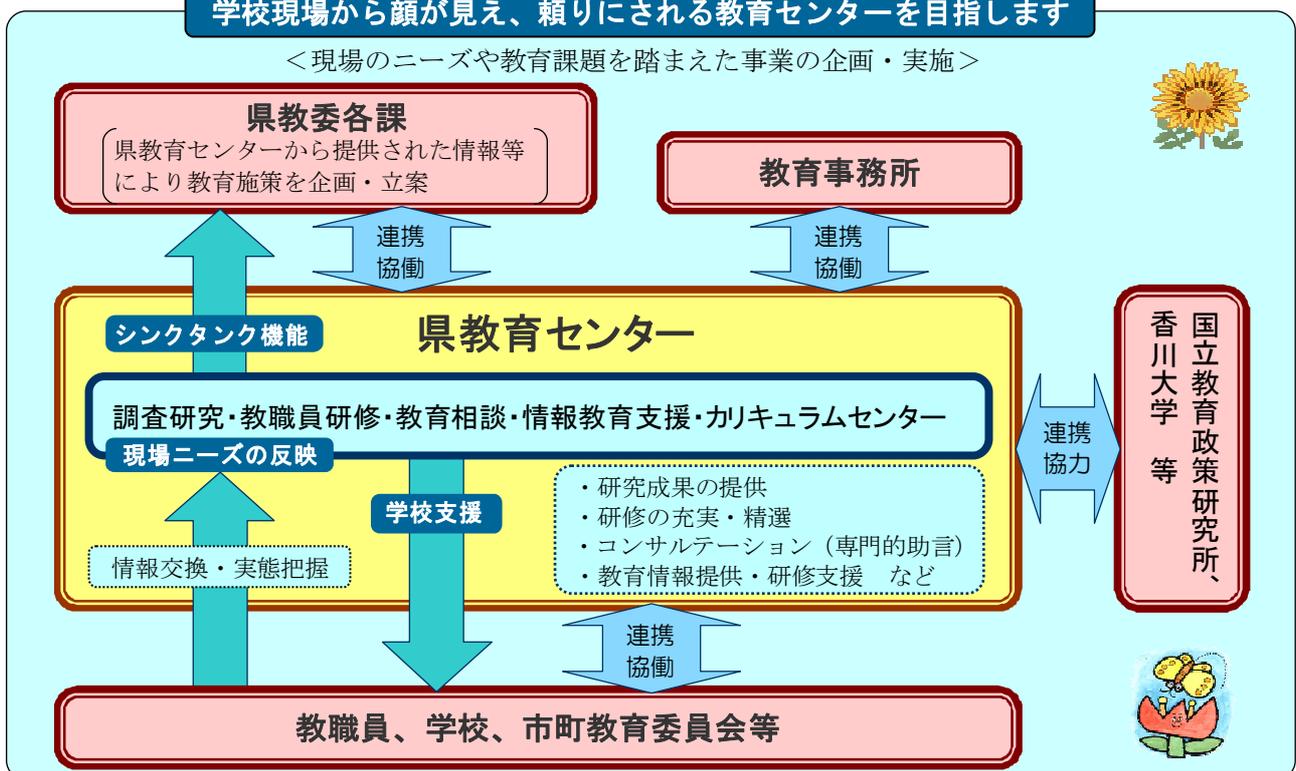
開館当時の「教育センターだより」を紐解くと、3つの抱負が記されています。すなわち「香川の教育の震源地になる」「香川の教育の開発センターになる」「香川の教育の殿堂になる」ことです。さらには、「本県の教育関係者にとって、やがては永久不滅の心のよりどころに」「香川の教育の歩みをそこに宿したい」「香川の教育の心をそこに満たしたい」とも……。

この開館当初の原点を肝に銘じ、移転を機に、更にハード・ソフト両面の充実を図り、歴史的な改革となるよう取り組んでまいりたいと思っています。

本号では、今年度の諸事業等を紹介しています。当センター事業を積極的にご活用くださるとともに、未来の教育センターに対するご意見・ご要望もお寄せいただければ幸いです。今後とも、職員一丸となって、「学校現場から顔が見え、頼りにされる教育センター」となるよう努力してまいります。ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

学校現場から顔が見え、頼りにされる教育センターを目指します

<現場のニーズや教育課題を踏まえた事業の企画・実施>



3つの事業で学校教育活動を支援します！

カリキュラムセンター事業

昨年度は、利用数が大幅に増加しました。
今年度も積極的にご利用ください。



○ 研修サポート

⇒指導主事を学校等に派遣し、各学校の研究テーマに沿った指導や助言、研修支援を行います。
(平成25年度実績：442件)

○ 研究相談

⇒教育実践上の諸問題等について、来所や電話、メール等により教職員からの相談に応じます。
(平成25年度実績：585件)

○ 図書資料室

⇒教育資料を提供（閲覧、貸出）します。（郵送での貸出等可）

<所蔵資料>

- ・教育図書 12,996冊
- ・研究紀要・論文等 40,634冊
- ・教育雑誌 24種
- ・各社の教科書 他



○ Webサイト

⇒教育資料を収集し、情報提供するほか、関連サイトを紹介します。

○ 退職教員学校サポート

さぬき学びの支援隊

⇒退職教職員を、小・中学校からの要請に応じて派遣し、校内研修等における講師や、放課後や別室での学習指導などを行います。

（平成25年度実績：支援隊登録者数 161人、
派遣校数 121校、派遣回数 2,805回）

○ 学校教育指導委員 (スクールアドバイザー) の派遣

⇒学習指導、栄養指導、保健指導、学校事務等に優れた教職員を小・中学校、幼稚園に派遣し、アドバイスをを行います。
(平成25年度実績：9件)

お願い 皆さんが作成した学習指導案や実践事例を教育センターにご提供ください。Webサイトで紹介します。

詳しくは、香川県教育センター Web サイト
(<http://www.kec.kagawa-edu.jp/>)

情報教育支援事業

○ 教職員の情報活用能力の育成

⇒・基本研修における情報モラル等の研修（初任者研修、10年経験者研修等）
・専門研修における情報関係講座の開設
・研究相談や研修サポートによる支援（タブレット端末の授業への活用等）

○ 情報機器等の活用支援

⇒・研究相談や研修サポートによる支援（情報機器の使用手法等）
・Netcommonsを利用した学校Webサイトの構築支援
・Webサイトによる情報提供



調査研究事業

1 全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析と今後の取組の提案

全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果を分析し、そこからうかがえる課題の改善に向けて、その取組の方向性をモデル校の実践を通して提案します。

2 学校におけるタブレット端末の活用に関する調査研究

香川県内の各学校において、タブレット端末がどのように活用されているかを調査するとともに、教職員や児童生徒が有効活用するための方法を研究し、提案します。

次期学習指導要領改訂に伴う喫緊の教育課題等についても、調査研究を行います。



〔平成25年度研究発表会〕

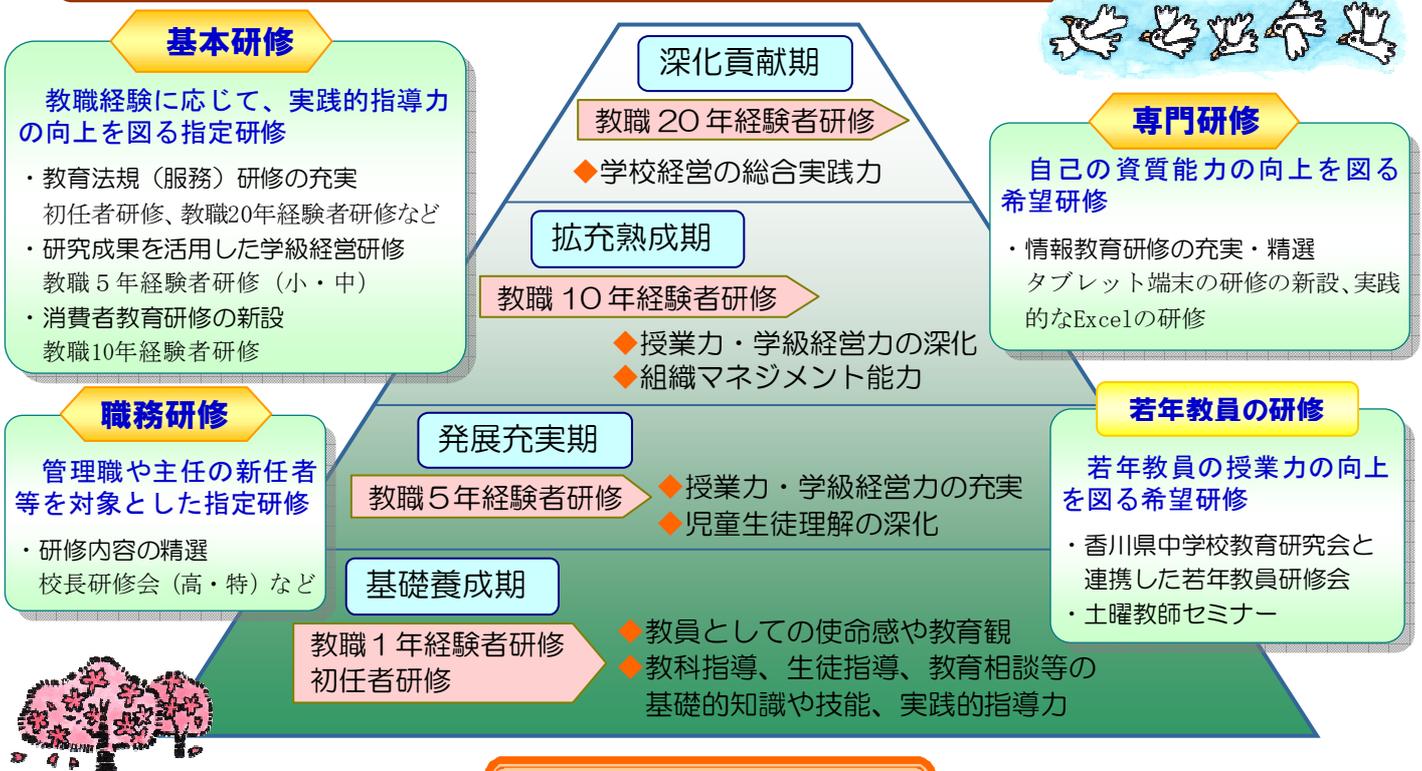
● 平成25年度までの調査研究の成果は、各校に配布されている冊子やWebサイトをご覧ください。

◆ 平成26年度香川県教育センター研究発表会 ◆ 平成27年1月23日（金）
今年度の研究成果について発表します。外部講師による講演会も開催の予定です。



実践的な力を伸ばす充実した教職員研修！

ライフステージを踏まえた研修体系により研修を実施します。指定研修（基本研修、職務研修）以外の専門研修や公開講演などにも積極的にご参加ください。



公開講演

関係研修の受講の有無にかかわらず聴講できます。詳しくは各学校に配付されている『研修講座案内』やWebサイトをご覧ください。

◆基本研修・職務研修の公開講演

期 日	演 題	講 師
5月20日(火)	特別支援教育とは	香川大学 准教授 小方朋子
7月23日(水)	リーダーシップと人材育成 ー南原繁の生涯に学ぶー	南原繁研究会 幹事 山口周三
7月23日(水)	学校トラブルへの対応 ー関連法規を踏まえてー	田代法律事務所 弁護士 田代 健
7月29日(火)	日本社会の変容と教育の課題	東京大学大学院 教授 本田由紀
7月30日(水)	キャリア教育（仮）	国立教育政策研究所 総括研究官 長田 徹
8月 5日(火)	学校組織マネジメント	国土館大学 教授 北神正行
8月 6日(水)	特別でない特別支援教育 ～京都府立朱雀高等学校の取組～	京都府立朱雀高等学校 教諭 二井弘泰
8月 7日(木)	自殺予防について	兵庫教育大学大学院 教授 新井 肇
8月18日(月)	気になる子どもの気付きと支援のあり方	早期支援教育コーディネーター 馬場広充
8月22日(金)	子どもや親との元気な関係づくり	明治大学 教授 諸富祥彦
11月13日(木)	小・中学校におけるキャリア教育の課題（仮）	筑波大学 教授 藤田晃之
12月25日(木)	食育推進の現状と課題	オフィス弁当の日 代表 竹下和男

◆専門研修の公開講演

期 日	演 題	講 師
6月13日(金)	『気づき』と『できる』から始める自閉症教育と支援	社会福祉法人つつじ 水野敦之
7月28日(月)	中学校国語科『読むこと』の現状と指導のポイント（仮）	宮城教育大学教職大学院 教授 相澤秀夫

子ども・保護者支援に悩んだら、教育センターへご相談ください！



保護者や子ども、教職員等からの相談を受けます

◆ ぜひ保護者にもご紹介ください。

保護者や子ども、教職員等からの相談を受け、問題解決のための援助を行います。

● 学校生活の悩み相談

- *電話相談 (087)862-4533
- *来所相談 (087)833-4238 (予約受付)
- *メール相談 kesoudan@kagawa-edu.jp

● 家庭教育電話相談

- *子どもホットライン (087)835-7867
- *子育てホットライン (087)861-4951

● 24時間いじめ電話相談

(087)833-4227
0570-0-78310(全国統一ダイヤル)

● ネット上のトラブル相談

- *電話相談 (087)813-0760
- *メール相談 香川県教育委員会 web サイト
<http://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkyoui/somu/mail/04mail.html>

コンサルテーションを充実させます

不登校、いじめ、発達障害など、学校が直面している困難な問題について、直接関わっている教職員等にセンター職員等が問題解決のための専門的な助言を行います。

内容

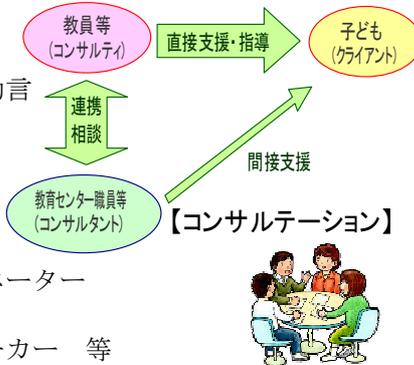
- 子どもや担任が抱えている問題について、課題を整理し具体的な対応策を検討しながら問題解決を図ります。
- チーム支援や学校全体での子どもの理解を進めるなど、担任を支える職場づくりを援助します。

方法 (教育相談課へご連絡ください)

- 来所相談
- 電話相談
- 学校訪問による
ケース会議への出席や助言

対象

- 学級担任
- 生徒指導担当
- 教育相談担当
- 特別支援教育コーディネーター
- スクールカウンセラー
- スクールソーシャルワーカー 等



学校支援アドバイザーを派遣します

学校支援アドバイザーは、家庭内の問題で子どもの養育に困難が生じているケースなど、学校だけでは対応が難しい問題の改善に向けて学校を支援する福祉分野の専門家です。

こんなケースに

- 非行など警察との連携が必要な問題行動
- 虐待の疑い
- 経済的要因や保護者の病気などによる養育問題

こんなことができます

- 福祉機関との橋渡し
- ケース会への参加、助言
- 保護者面接、家庭訪問支援

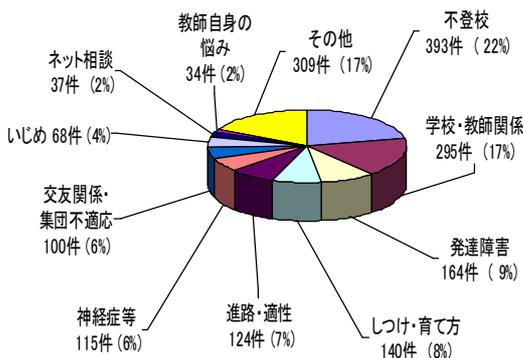


学校支援アドバイザーの紹介

高田 久海子 アドバイザー
元香川県子ども女性相談センター職員。非行や家庭の問題などに長年関わった豊富な経験を生かし、それぞれの子どもや家庭に即した対応について、学校と一緒に考え支援します。

平成 25 年度相談状況

【学校生活の悩み相談・ネット上のトラブル相談】
相談件数 1,779 件



① 発達障害に起因する問題についての相談が増加

二次障害としての暴言・暴力や非行等、生徒指導上の問題の相談が増えています。

- ・早急に校内でケース会議等を開き、学校全体で特性の理解や個の特性に応じたチーム支援を行うことで、比較的早く問題が改善されます。
- ・重篤化した場合は、学校だけでは対応が困難であり、医療、福祉、警察等との連携が必要です。

② ネット上のトラブルについての相談が増加

昨年度は前年度の約 1.7 倍の相談が寄せられ、特にソーシャルネットワーキングサービス(SNS)でのトラブルが増えています。

- ・当該児童生徒に対し、ルールやマナーを指導するだけでなく、行った行為について子どもたち同士で話し合う場を設けることも大切です。
- ・生命を脅かしたり名誉毀損にあたる等、緊急性のあるものや被害が拡大する恐れのあるものについては、早い段階での警察との連携が必要です。

平成25年度の取組成果です。ご活用ください！

調査研究1 達人が伝授！すぐに役立つ学級経営のコツ



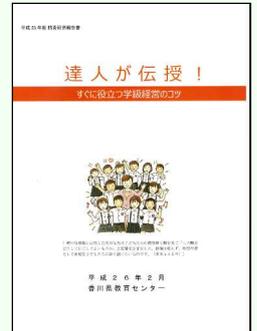
「学級集団づくり」「児童生徒への共感的理解」「保護者との関係づくり」という3つの視点を中心に研究し、冊子にまとめました。

さめきの若手教員の悩みに答える！

- ・若手教員の学級経営にすぐに役立つことを目指し、できるだけ具体的な取組の方法やアイデアを盛り込み、19の事例を掲載。
- ・「達人からのアドバイス」欄を設け、熟練教員が長い教員生活の中で培ってきた学級経営に関する考え方や指導方針について助言。

さめきの若手教員の実態を把握！

学級経営に関する悩みなどについて、初任者等にアンケート調査を行い、その結果を表やグラフを用いて詳しく紹介。



冊子は昨年度、各学校に配布しています。各校での若年研修等で、ぜひ、ご活用ください。

調査研究2 学校における保護者・地域等への情報発信の支援に関する研究



学校Webサイト（ホームページ）の円滑で効果的な運用を図る効率的なシステム（NetCommons）の導入などについて研究しました。

学校Webサイトを簡単に更新できます！

- NetCommons を使うと、Web サイトを簡単に更新可能。
- ⇒ 教職員それぞれが分担して、いつでも最新の情報を掲載。
 - ⇒ いつでもどこでも更新。
- （例：修学旅行先からスマートフォン等で画像をアップ）

教育センターが導入の支援をします！

- ・システムは無償でダウンロード。
- ・教育センターが市町教委等のサーバーにシステムを構築し、使い方の研修も実施。



平成25年度、丸亀市内の多くの小中学校で導入しました。引き続き、他の市町での導入についても支援していきます。ぜひ、教育研究課へご相談ください。

調査研究3 全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析



2つの調査の結果を詳細に分析し、そこからうかがえる香川県の児童生徒や学校、教職員にとっての課題を紹介するとともに、改善の方向性を提案しました。

2つの学習状況調査からうかがえる課題

小・中学校ともに「自分の行動や発言に自信をもっていますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合が低いなど、自尊感情に課題。

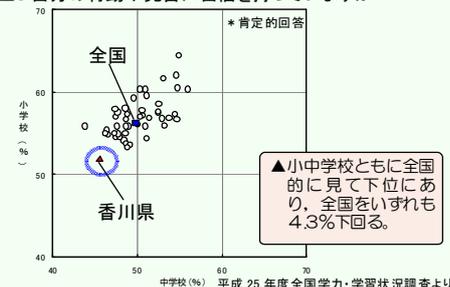
改善に向けた取組の提案

- 自分の考えに自信がもてるよう授業改善。
- ⇒ 話し合いのテーマを明確化。
 - ⇒ 自分の考えを表現する場の設定。



自分の行動や発言に自信 [児童生徒質問紙]

□8 自分の行動や発言に自信を持っていますか



各校が今後の取組の方向性を検討するためには、2つの調査の報告書で香川県の傾向をつかみ、「活用ツール」(Web サイトからダウンロード可能)で自校の具体的な状況を把握することが大切です。

ネットトラブルに関する学校での対応事例集を作成

学校現場で実際に起きた事例とその対応方法のほか、校内研修等で参考となる資料を掲載しています。教職員の実践的な指導力を高め、ネットトラブルに適切に対応するためにご活用ください。

内容

ネットトラブル対応事例

- SNS や掲示板での誹謗中傷やいじめ
- なりすましメールによる嫌がらせ等
- クレジットカードの無断使用
- ワンクリック請求などの不当請求
- 誘い出しによる性的被害や暴力行為
- 性的画像・動画の流布
- 犯行予告
- 著作権法等の違反
- ネット（ゲーム）依存による健康被害
- 写真や名前等の個人情報の無断掲載

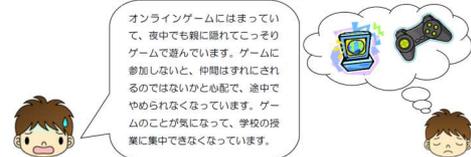
資料

- インターネット利用状況、スマートフォンやSNS等の知識
- フィルタリングサービスについて
- 各種啓発用リーフレット

⑨ ネット（ゲーム）依存による健康被害

事例 ゲーム依存やパソコンの長時間使用による日常生活への悪影響

オンラインゲームにはまっています。夜中でも親に隠れてこっそりゲームで遊んでいます。ゲームに参加しないと、仲間はずれにされるのではないかと心配で、途中でやめられなくなって、学校の授業に集中できなくなっています。



⑩ 解説 ゲーム依存やパソコンの長時間使用による日常生活への悪影響

事例の解説

子どもが放課後や夜にゲームに集中するあまり、学校の授業に集中できずに成績の低下につながります。オンラインゲームは、ゲーム上の友だちと連携して遊めるものが多く、一人だけ抜けることができないために長時間付き合ってしまう場合も見受けられます。ゲーム依存になると、気力が低下して気分が憂鬱になったり、学校での人間関係に関心が低くなったりします。その症状が悪化すると、ひきこもりになる危険性もあります。また、子どもたちの間で動画サイトの人気が高まっており、長時間視聴などでも同様の問題が起きており、子どもの時間の使い方を保護者が気にかけてあげることが重要です。

教員の対応等

1. ゲームやパソコンの使用に関する家庭のルールを決める
1日のうちゲームやパソコンをしてもよい時間を決める。ゲームは宿題をした後にするなど、子どもと一緒に話し合ってゲームやパソコンの使用に関する家庭のルールを決め、守らせるようにしよう。
2. 子ども自身の身体や生活習慣の変化を確認する
子どもがゲーム依存やパソコンの長時間使用に陥っている場合、子どもの顔色や体調、日々の生活習慣（夜遅くまで起きている、食後すぐに就寝することなど）に変化が起きますので、その兆候に早め気づくようにしましょう。
3. 農幸市の専門機関に相談する
子どものゲーム依存が深刻な場合、農幸市の専門機関に相談することを検討しましょう。心療内科に相談することも考慮にいられます。



*教育センター Web サイトからダウンロードできます。

「ゆるやかな絆と信頼で結ばれた職場づくりのために」を発行



教職員が互いを認め合い支え合いながら仕事ができる職場づくりを目指して、教職員のためのサポートブック3として発行しました。研修受講者へのアンケートの結果を基にどの学校にもありがちな事例を想定し、解決のためのヒントを掲載しています。

内容

第1章 職場の事例から考える

6つの異なる状況を想定し作成した事例を基に、問題が生じる要因や改善のためのヒントを紹介。

- 本音や弱音はゆったりとした会話の中に
- 「人」が見える引き継ぎを
- 多様性のある教員集団に
- 「何気ない雑談」こそ大切に
- 固い組織より柔軟に動けるチームへ など

第2章 安心感のある職場づくりのために

校内で実施できるエクササイズやストレスチェックなど、和やかな職場づくりのアイデアを紹介。

資料 「職場や家庭での悩みなどに関するアンケート」結果

活用

- * 事例とヒント ⇒ 職場で生じる身近な問題の改善
- * 職場づくりのアイデア ⇒ 校内研修の合間等で活用
- * アンケート結果 ⇒ 職場での言葉かけの参考

サポートブック1・2もあわせてご活用ください

- サポートブック1
「保護者とのよりよい関係を築くために」
- サポートブック2
「だれもが安心して過ごせる学級をつくるために」



*教育センター Web サイトからダウンロードできます